

目次

はじめに	3
部品一覧	3
最大のパフォーマンスを得るには	4
VoiceStation™ 500 の設置	4
VoiceStation™ 500 の使い方	5
Bluetooth オーディオの使い方	8
Bluetooth のダイヤル手順	13
2.5 mm ジャック経由のオーディオ ケーブル モード	14
メンテナンス	17
トラブルシューティング	17
Polycom 限定保証	18
限定責任	18
著作権	20

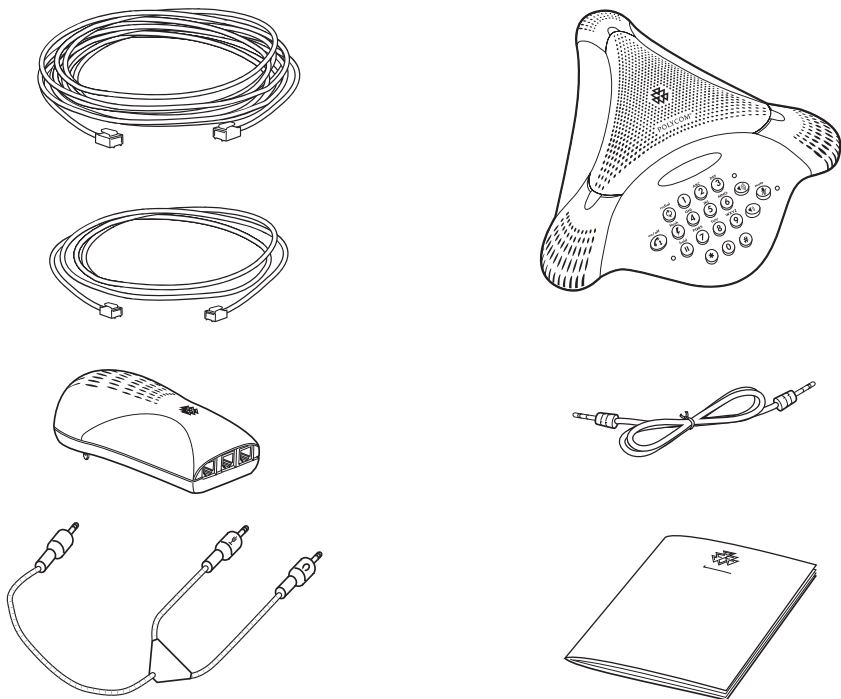
はじめに

Polycom の VoiceStation™ 500 をお選びいただき、ありがとうございます。VoiceStation™ 500 は Polycom 独自のアコースティック クラリティ テクノロジーを使用し、会議において明瞭な、全二重デュプレックスモードでの双方向通話を実現します。また、会議室の環境にダイナミックに適応し、エコーや音声の途切れを防ぎます。3 つの内蔵マイクが会議室全体の音を拾うため、通常の話声でも明瞭に相手に伝えることができます。

機器を使用する前に、このユーザーズガイドをお読みください。また、このユーザーズガイドは使用開始後に参照できるように保管しておいてください。

次に、VoiceStation™ 500 登録カードに記入して郵送するか、www.polycom.com でオンライン登録を行ってください。

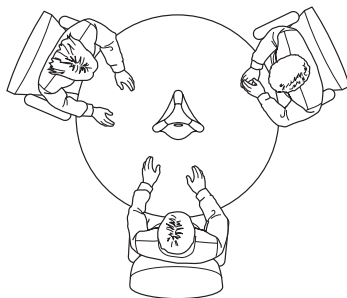
部品一覧



メモ：詳細については『Quick Start Guide (クイックスタートガイド)』を参照してください。

最大のパフォーマンスを得るには

- ▶ VoiceStation™ 500 はテーブルまたは机の中央に配置してください。
- ▶ VoiceStation™ 500 は、カーペットやカーテンなど柔らかい素材の調度品があり、吸音性の高い壁や天井のある会議室に配置してください。
- ▶ VoiceStation™ 500 の周辺に書類や物を置かないようにしてください。
- ▶ 通常の声の大きさと話してください。
- ▶ VoiceStation™ 500 の方を向いて話してください。



VoiceStation™ 500 の設置

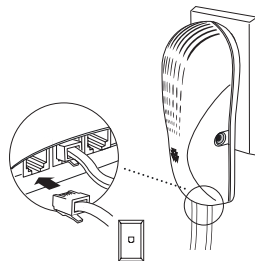
1. 本体ケーブル (長) の片端を電話機の底に接続します。



2. 電源装置のプラグを近くのコンセントに差し込みます。

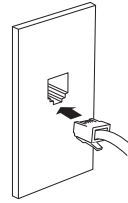
3. 本体ケーブルのもう一方の端を電源装置の底に接続します。VoiceStation™ 500 で簡単な自己テストが実行され、音が聞こえます。音が聞こえない場合、プラグがコンセントから外れていないか、また電源がオンになっているかどうかを確認してください。

4. 電話ケーブル (短) を電源装置に接続します。システム管理者に問い合わせて、標準のアナログ電話回線の場所を確認してください。



5. 電話ケーブルのもう一方の端を、標準のアナログ電話回線用のジャックに接続します。

- ▶ VoiceStation™ 500 をデジタル電話回線に接続しないでください。機器が破損する恐れがあります。



6. VoiceStation™ 500 を会議室の中央の平らな安定した場所に置き、音量を上下するボタンで着信音を調整します。



- ▶ 着信音には、高、低、オフの3つのモードがあります。音量ボタンを押すと着信音が鳴り、現在のモードを確認できます。



▶ [on/off] インジケータライトが点灯している場合、音量ボタンを押すとスピーカーの音量レベルを調整できます。

▶ [on/off] インジケータライトが点灯していない場合、音量ボタンを押すと着信音の音量を調整できます。

7. [on/off] ボタンを押して、ダイヤルトーンを確認します。



- ▶ ダイヤルトーンが聞こえない場合、アナログ電話回線に接続されていない可能性があります。その場合はシステム管理者に問い合わせてください。

VoiceStation™ 500 の使い方

Polycom® VoiceStation™ 500 では次の3つの操作モードがサポートされています。

- アナログ電話 (POTS) 音声モード
- Bluetooth オーディオモード (ヘッドホン、ハンズフリープロファイル)
- オーディオケーブルモード (2.5mm)

通常の POTS モードの場合、リンクインジケータは消灯します。VoiceStation™ 500 が Bluetooth モードの場合、リンクインジケータはゆっくりと青で点滅し、オーディオケーブルモード (オーディオケーブル接

続時) の場合、インジケータは黄色に点灯します。

POTS モードのときに 2.5 mm ケーブルを差し込むとオーディオケーブルモードを使用できるようになります。オーディオケーブルモードに切り替えるには [Mode] ボタンを押します。リンクインジケータが黄色に点灯します。オーディオケーブルモードのときにも、Bluetooth や POTS での通話の発信と応答は可能です。詳細については、15 ページの「オーディオケーブルモードの通話を切り替える」を参照してください。

POTS モード

キーパッド



番号のダイヤル

例：



通話への応答



VoiceStation™ 500 の着信音が鳴ったらこのボタンを押します。

スピーカー音量の調整



通話中に音量を上下するボタンを押すと、音量レベルを調整できます。

マイクのミュート



[mute] ボタンを押すとマイクがオフになり、相手側に会話が聞こえないようになります。マイクの横にある赤いインジケータライトがオンになります。スピーカーはオンのままですから、相手側の会話は聞こえます。双方向の会話を再開するには、[mute] ボタンをもう一度押します。赤いインジケータライトが消えます。

Bluetooth デバイスとのペアリング



[Mode] ボタンを 3 秒間押して、ペアリングモードを開始します。詳細については、「Bluetooth オーディオの使い方」を参照してください。

特殊な機能



お使いの電話システムで、コールウェイティング、会議通話、転送などの特殊な機能を利用できる場合、これらの機能を実行するにはこのキーを押します。お使いの電話システムで使用できる特殊な機能についての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

通話の終了



通話を終了するには、[on/off] ボタンを押します。

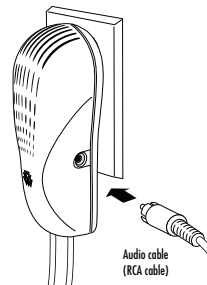
リダイヤル



リダイヤルするには、[redial] ボタンを押します。

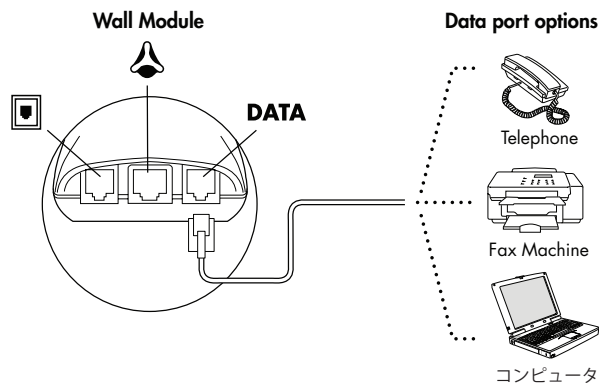
会話の録音

RCA コネクタ付きケーブルの端を電源装置の AUX 出力ジャックに差し込みます。ケーブルのもう一方の端をテープレコーダの AUX 入力ジャックに差し込みます。



受話器を使用した通話

VoiceStation™ 500 のウォールモジュールのデータポートに電話機を接続します。[hold] ボタンを押して通話を保留にし、データポートに接続されている電話の受話器で応答します。データポートには FAX やコンピュータのモデムを接続することもできます。



Bluetooth オーディオの使い方

Bluetooth モードは VoiceStation™ 500 に追加された新しい操作モードです。この機能によって、携帯電話やコンピュータの通話アプリケーションの利便性に会議電話の音響効果を組み合わせることが可能になりました。たとえば、携帯電話での通話中に携帯電話を Bluetooth 経由で VoiceStation™ 500 に接続して、VoiceStation™ 500 のスピーカーとマイクを使って通話を続けたり、室内にいる全員に通話に加えたりすることができます。

VoiceStation™ 500 の Bluetooth モードを使用すると、場所を選ぶことなく、アナログ回線やテレフォニー設備のない環境でも自由に会議を開催できます。

Bluetooth モードで接続するには、次の3つの方法のいずれかを行います。

- VoiceStation™ 500 とのペアリング (相互登録) をまだ行っていない携帯電話との間で、手動で Bluetooth 接続を行う (下記の手順を参照)。
- VoiceStation™ 500 とのペアリングが完了した携帯電話との間で、手動で Bluetooth 接続を行う (携帯電話の登録機器リストで "PLCM VS500" を選択)。
- [Mode] ボタンを押して Bluetooth モードにする。ここで VoiceStation™ 500 の [on/off] ボタンを押して、最後に Bluetooth 接続を行ったペアリング済みの携帯電話に接続する。接続を行うと、他に操作しなくても Bluetooth モードに切り替わります。このモードでは、リンクインジケータは青色に点灯します。60 秒以内に Bluetooth 接続を確立できない場合、VoiceStation™ 500 は POTS モードに戻ります。

Bluetooth モードの開始

VoiceStation™ 500 を Bluetooth モード用に設定する

1. [Mode] ボタンを押して Bluetooth モードに切り替えます。モードの LED がオンになり、青色にゆっくりと点滅または点灯します。
2. [Mode] ボタンをもう一度押します。少なくとも 3 秒間待ち、LED が青色にすばやく点滅する (検出中) のを確認します。

Bluetooth デバイスで VoiceStation™ 500 が検出されペアリングされたことを示す一連の音が、VoiceStation™ 500 から聞こえます。

Bluetooth デバイスで VS500 を検出デバイスとして選択し、パスワードを求められたら「0000」と入力します。Bluetooth 対応のデバイスが VoiceStation™ 500 とペアリングされ接続されたら、LED が青色に点灯します (オン)。さらに、VoiceStation™ 500 から確認音が聞こえます。

3. 携帯電話またはコンピュータと組み合わせる場合は、次のセクションを参照してください。

Bluetooth 対応の携帯電話と組み合わせた場合の VoiceStation™ 500 の使い方:

Bluetooth 携帯電話の通話を発信および終了する

1. [Mode] ボタンを押して Bluetooth モードに切り替えます。モードの LED がオンになり、青色に点灯します。

2. Bluetooth 対応の携帯電話で電話番号をダイヤルするか、または VoiceStation™ 500 の [on/off] ボタンを押して前回ダイヤルした携帯電話の番号にダイヤルします。
3. 話が終わったら、携帯電話またはコンピュータで通常と同様に通話を終了するか、VoiceStation™ 500 の [on/off] ボタンを押します。

VoiceStation™ 500 で携帯電話の通話に応答する

1. 携帯電話と VoiceStation™ 500 間のペアリングとリンクを確認します。詳細については、「Bluetooth モードの開始」を参照してください。
2. 携帯電話が鳴ったら、通常と同様に携帯電話で通話に応答します。または、
3. VoiceStation™ 500 の [on/off] ボタンを押します。

VoiceStation™ 500 で携帯電話の通話を終了する

1. 通常と同様に携帯電話で通話を終了します。または、
2. VoiceStation™ 500 の [on/off] ボタンを押します。

VoiceStation™ 500 で前回ダイヤルした番号をリダイヤルする

- VoiceStation™ 500 の [on/off] ボタンを押して、前回ダイヤルした携帯電話の番号をダイヤルします。メモ: Bluetooth モードのときに POTS 通話を発信する場合は、最初に [Mode] ボタンを押して Bluetooth モードから出て、次に [on/off] ボタンを押して POTS 通話を開始する必要があります。

VoiceStation™ 500 と携帯電話間で音声を送送する (秘話機能)

1. 「Bluetooth 携帯電話の通話を発信および終了する」の指示に従って、電話番号をダイヤルします。
2. VoiceStation™ 500 から携帯電話に音声を送送するには、* ボタンを押します。
3. 携帯電話から VoiceStation™ 500 に音声を送送し返すには、もう一度 * ボタンを押します。

VoiceStation™ 500 で携帯電話の通話を切り替える

- 携帯電話のフラッシュ機能を使用すると、2つの通話を切り替えることができます。

VoiceStation™ 500 で通話をミュートする

- VoiceStation™ 500 の [mute] ボタンを押すと、このユーザーズガイドの「POTS モード」セクションで説明されているように、通話のミュートが設定または解除されます。

音量を変更する

- VoiceStation™ 500 の音量を上下するボタンを押すと、このユーザーズガイドの「POTS モード」セクションで説明されているように、目的の音量レベルに調整できます。

Bluetooth の音声通話を録音する

- このユーザーズガイドの「POTS モード」セクションで説明されている、「会話の録音」を参照してください。

Bluetooth モード中に POTS 通話を発信する

1. Bluetooth デバイスを使用して通話している場合は、VoiceStation™ 500 の [Mode] ボタンを押して通話を保留にし、LED が点灯していないことを確認します。[Mode] ボタンを押して Bluetooth モードを出していない場合は、[on/off] ボタンを押すと前回ダイヤルした番号が自動的にもう一度ダイヤルされます。

2. VoiceStation™ 500 の [on/off] ボタンを押すと、POTS のダイヤルトーンが聞こえます。
3. VoiceStation™ 500 のキーパッドを使用してダイヤルします。
4. 通話を終了するには、VoiceStation™ 500 の [on/off] ボタンを押します。
5. Bluetooth 通話を再開するには、VoiceStation™ 500 の [Mode] ボタンを押します。

異なるモードの通話に切り替える (POTS から Bluetooth へ、または Bluetooth から POTS へ)

1. Bluetooth モードのときに POTS 通話を発信するには、[Mode] ボタンを押して [on/off] ボタンを押し、次に電話番号をダイヤルします。話が終わったら、[on/off] ボタンを押します。[Mode] ボタンを押して Bluetooth モードの通話に戻ります。
2. Bluetooth モードのときに POTS 通話に回答するには、[on/off] ボタンを押します。

VoiceStation™ 500 で Bluetooth 接続を解除する

- Bluetooth モードのときに [Mode] ボタンを 3 秒間押します。青色に点灯している LED がゆっくりと点滅し、ピープ音が鳴ります。

Bluetooth 対応のコンピュータを組み合わせる場合の VoiceStation™ 500 の使い方

VoiceStation™ 500 を Bluetooth モードに設定する

1. [Mode] ボタンを押して Bluetooth モードに入ります。モードの LED がオンになり、青色にゆっくりと点滅または点灯します。

- Bluetooth モードになったことを確認します。[Mode] ボタンを少なくとも 3 秒間押して、LED が青色にすばやく点滅している (検出中) ことを確認します。Bluetooth デバイスで VoiceStation™ 500 が検出されたことを示す一連の音が、VoiceStation™ 500 から聞こえます。

Bluetooth デバイスで PLCM VS500 を検出デバイスとして選択し、パスワードを求められたら「0000」と入力します。(コンピュータのプロンプトに従って) Bluetooth 対応デバイスが VoiceStation™ 500 とペアリングされたら、LED が青色に点灯します (オン)。さらに、VoiceStation™ 500 から確認音が聞こえます。

コンピュータ通話を発信および終了する

- VoiceStation™ 500 の [on/off] ボタンを押して、コンピュータに接続します。
- 電話番号をダイヤルします。
- 話が終わったら、通常と同様にコンピュータで通話を終了します。

コンピュータ通話に応答する

- 携帯電話が VoiceStation™ 500 とペアリングされていることを確認します。
- コンピュータ通話の着信音が鳴ったら、通常と同様にコンピュータで応答します。

VoiceStation™ 500 で携帯電話の通話を終了する

- 通常と同様に携帯電話で通話を終了します。

VoiceStation™ 500 で前回ダイヤルした番号をリダイヤルする (コンピュータ通話の場合)

- 利用できません。

VoiceStation™ 500 とコンピュータ間で音声を転送する

- VoiceStation™ 500 からコンピュータ、またはコンピュータから VoiceStation™ 500 に音声を転送するには、VoiceStation™ 500 とコンピュータの接続を解除する必要があります。これを行うには、次の 2 つの方法があります。
 - VoiceStation™ 500 の [Mode] キーを少なくとも 3 秒間押します。
 - コンピュータの通話アプリケーションでマウスを右クリックし、指示に従って Bluetooth 接続を解除します。

VoiceStation™ 500 でコンピュータ通話を切り替える

- 利用できません。

VoiceStation™ 500 で通話をミュートする

- VoiceStation™ 500 の [mute] ボタンを押すと、このユーザーズガイドの「POTS モード」セクションで説明されているように、通話のミュートが設定または解除されます。

音量を変更する

- VoiceStation™ 500 の音量を上下するボタンを押すと、このユーザーズガイドの「POTS モード」セクションで説明されているように、目的の音量レベルに調整できます。

通話を録音する

- このユーザーズガイドの「POTS モード」セクションで説明されている「会話の録音」を参照してください。

コンピュータが Bluetooth モード中に POTS 通話を発信する

- Bluetooth デバイスを使用して通話している場合は、VoiceStation™ 500 の [hold] ボタンを押して通話を保留にします。
- VoiceStation™ 500 の [on/off] ボタンを押して POTS 通話を発信します。

3. VoiceStation™ 500 のキーボードを使用してダイヤルします。
4. 通話を終了するには、VoiceStation™ 500 の [on/off] ボタンを押します。
5. VoiceStation™ 500 の [hold] ボタンを押すと、Bluetooth デバイスでの通話が再開されます。

異なるモードの通話に切り替える (POTS から Bluetooth へ、Bluetooth から POTS へ)

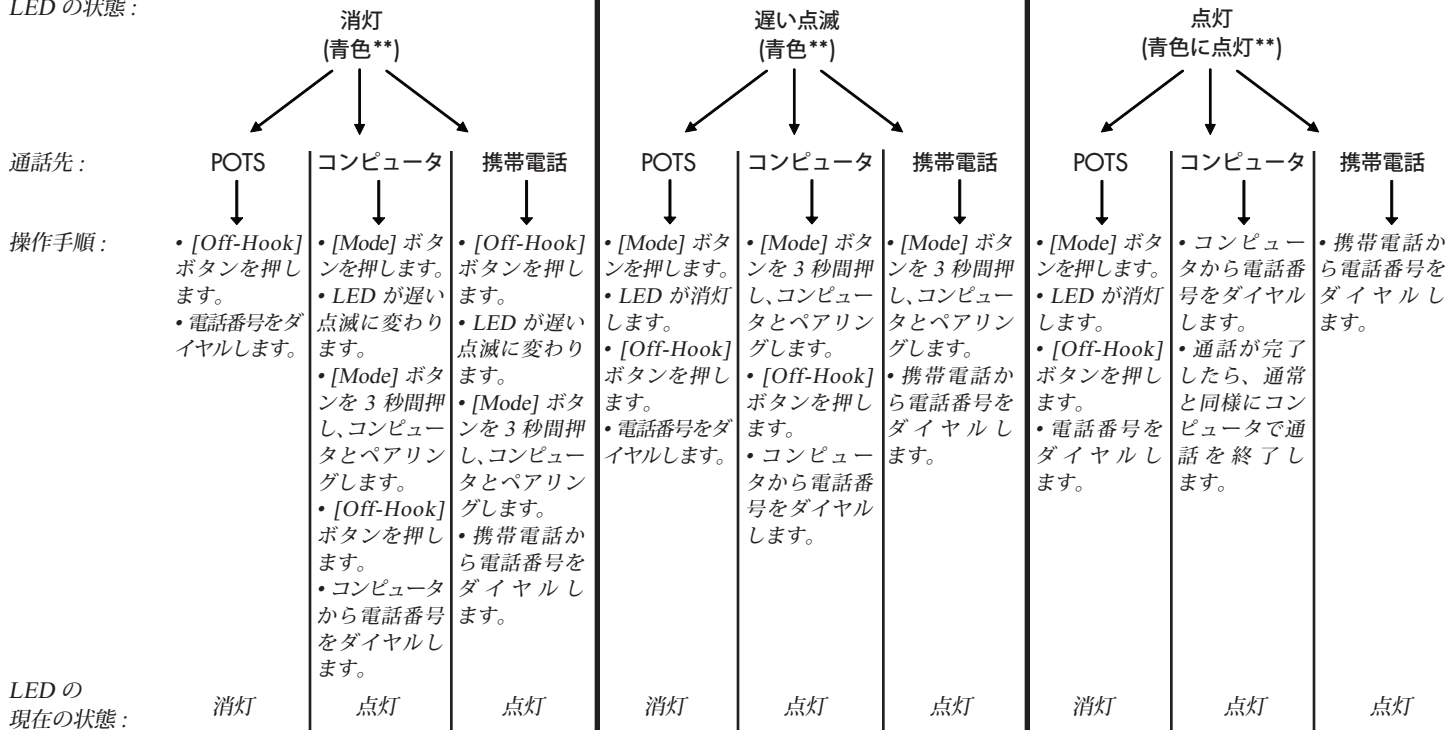
1. Bluetooth モードのときに POTS 通話を発信するには、[Mode] ボタンを押して [on/off] ボタンを押し、次に電話番号をダイヤルします。話が終わったら、[on/off] ボタンを押します。[Mode] ボタンを押して Bluetooth モードの通話に戻ります。
2. Bluetooth モードのときに POTS 通話に応答するには、[on/off] ボタンを押します。

VoiceStation™ 500 で Bluetooth 接続を解除する

- [Mode] ボタンを 3 秒間押します。青色に点灯している LED がゆっくり点滅し、ビーブ音が鳴ります。

Bluetooth のダイヤル手順*

LED の状態：



* デバイスと VoiceStation 50 はすでにペアリングが行われていることが前提となっています。

** LED が“黄色”の場合は、ユーザーズガイドの「オーディオ ケーブル モード」を参照してください。

2.5 mm ジャック経由のオーディオ ケーブル モード

携帯電話を VoiceStation™ 500 の 2.5 mm 音声入出力ジャックに接続するには、付属の携帯電話コネクタケーブルを使用します。携帯電話コネクタケーブルは、携帯電話の標準的な 2.5 mm ヘッドホンジャックに接続します。携帯電話をこのコネクタに接続するために、ヘッドホンアダプタが必要となる場合もあります。アダプタは家電販売店やユニバーサルハンズフリーキットを扱う携帯電話販売店で広く取り扱われています。Nokia、Samsung、Sony Ericsson、Siemens の携帯電話用のハンズフリーアダプタキットは Polycom® でも取り扱っています。これらのアダプタキットの詳細については、お近くの販売代理店にお問い合わせください。

また、付属するコンピュータ通話用ケーブルを VoiceStation™ 500 の 2.5 mm の音声ジャックに接続して使用することもできます。このコンピュータ通話用ケーブルを使用すると、VoiceStation™ 500 を使用してインターネット経由で電話をかけることができます。この機能により、Skype、AIM、MSN Messenger、Yahoo! Messenger、および企業の IP ソフトホンなどのアプリケーションによる便利なインターネット通話を、Polycom の定評ある電話会議システムの音声品質で使用することができます。コンピュータ通話用ケーブルの片端を VoiceStation™ 500 に差し込んで、もう一方の端をデスクトップコンピュータまたはノートパソコンのサウンドカードのコネクタに接続するだけです。

POTS モードのときに 2.5 mm ケーブルを差し込むとオーディオケーブルモードが有効になります。オーディオケーブルモードに切り替えるには [Mode] ボタンを押します。リンクインジケータが黄色に点灯します。オーディオケーブルモードのときにも、Bluetooth や POTS での通話の発信と応答が可能です。詳細については、15 ページの「オーディオケーブルモードの通話を切り替える」を参照してください。

オーディオケーブルモードが有効な場合、POTS 通話を受信できます。POTS 通話を受信するには [on/off] ボタンを押します。それだけで、リンクインジケータは消灯します。POTS モードに切り替わったことを示します。POTS 通話が終わってすぐに [Mode] ボタンを再度押すと、リンクインジケータが黄色で点灯し、オーディオケーブルモードに戻ることができます。

オーディオケーブルモードの設定：

1. 2.5 mm コネクタ付きの携帯電話ケーブルの片端を VoiceStation™ 500 の 2.5 mm 電話ジャックに差し込み、もう一方の端を携帯電話またはコンピュータに差し込みます。
2. [Mode] ボタンを押してオーディオケーブルモードに切り替えます。LED が黄色に点灯します。

オーディオケーブルモードを使用した通話の発信：

オーディオケーブルモードの通話を発信および終了する

1. 上の「オーディオケーブルモードの設定」セクションの説明のとおり VoiceStation™ 500 が設定されていることを確認します。
2. VoiceStation™ 500 に接続されているデバイスから、電話番号をダイヤルします。
3. 話が終わったら、通常と同様に携帯電話またはコンピュータで通話を終了します。

オーディオケーブルモードの通話に応答する

1. 上の「オーディオケーブルモードの設定」セクションの説明のとおり VoiceStation™ 500 が設定されていることを確認します。

2. 着信音が聞こえたら、通常と同様に応答します。

オーディオ ケーブル モードで前回ダイヤルした番号をリダイヤルする

- VoiceStation™ 500 に接続した携帯電話またはコンピュータを使用して、前回ダイヤルした番号にリダイヤルします。

オーディオ ケーブル モードのデバイス間で音声を送る

- 携帯電話またはコンピュータの 2.5 mm コネクタ付きコネクタケーブルを、携帯電話またはコンピュータから取り外す必要があります。

オーディオ ケーブル モードの通話を切り替える

[Mode] ボタンを使用すると、次のように POTS、Bluetooth、オーディオ ケーブル モード間の通話を切り替えることができます。

1. オーディオ ケーブル モードのときに POTS 通話を発信したり POTS 通話に応答するには、[Mode] ボタンを押して [on/off] ボタンを押し、通話を発信するか、または通話に応答します。黄色に点灯していた LED が消えます。話が終わったら [on/off] ボタンを押し、[Mode] ボタンをもう一度押します。
2. オーディオ ケーブル モードのときに Bluetooth 通話を発信したり Bluetooth 通話に応答するには、[Mode] ボタンを押して通話を発信するか、または通話に応答します。LED は Bluetooth モードとして青色に点灯します。話が終わったら、もう一度 [Mode] ボタンを押します。LED は黄色に戻ります。

VoiceStation™ 500 で通話をミュートする

1. VoiceStation™ 500 の [mute] ボタンを押すと、このユーザーズガイドの「POTS モード」セクションで説明されているように、通話のミュートが設定または解除されます。または、
2. 携帯電話の [Mute/Unmute] ボタンも使用できます。

音量を変更する

1. VoiceStation™ 500 の音量を上下するボタンを押すと、このユーザーズガイドの「POTS モード」セクションで説明されているように、目的の音量レベルに調整できます。または、
2. 携帯電話を使用しても音量を調整できます。

音声通話を録音する

- このユーザーズガイドの「POTS モード」セクションで説明されている「会話の録音」を参照してください。

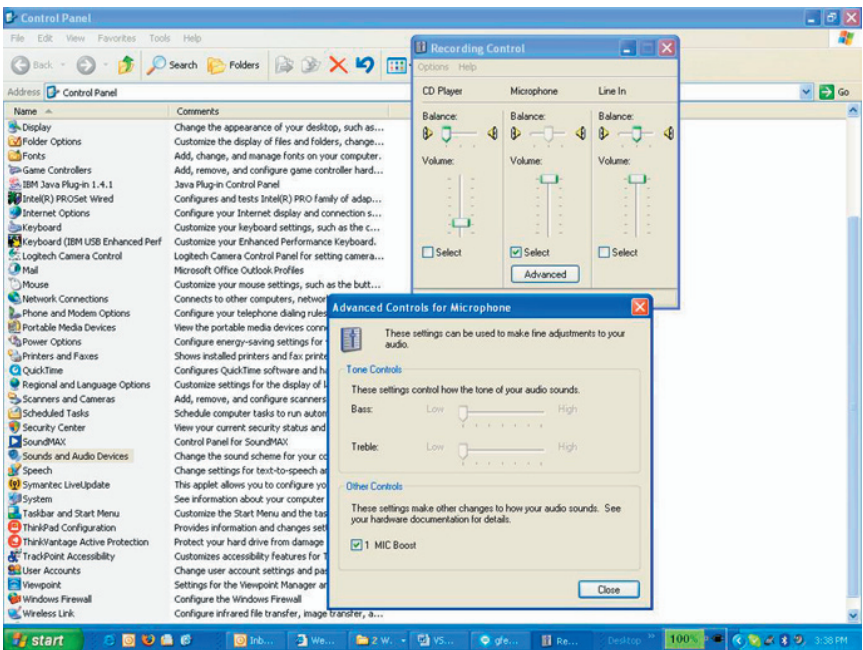
VoiceStation™ 500 でオーディオ ケーブルモードの接続を解除する

1. 通常と同様に通話を終了します。
2. VoiceStation™ 500 側面の 2.5 mm ポートからケーブルを抜きます。黄色に点灯していた LED が消え、VoiceStation™ 500 が POTS モードになります。

コンピュータでのマイク設定の調整 (オプション):

VoiceStation™ 500 でコンピュータ通話用ケーブルを使用する際の音質を向上するには、下記の手順で Windows® XP の [サウンドとオーディオデバイス] メニューから [マイクブースト] をオンにしてください (設定方法はオペレーティングシステムによって異なる場合があります)。

[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [サウンドとオーディオデバイス] → [音声] → [音声録音] → [音量] → マイクの [詳細設定] → [マイクブースト] チェックボックスをオンにする



メンテナンス

VoiceStation™ 500 は柔らかい乾いた布で拭いてください。アルコールや石油ベースのクリーナーは使わないでください。

トラブルシューティング

ダイヤルトーンが聞こえない

- ▶ すべての接続が正確にしっかりと行われていることを確認します。
- ▶ 短いケーブルが標準のアナログ電話回線に接続されていることを確認します。
- ▶ 別の電話線でも試してみます。

着信音が鳴らない

- ▶ 音量を上げるボタンで着信音を調整します。

短い無音状態、エコー、音声の途切れがある

- ▶ VoiceStation™ 500 の使用中は、本体を移動しないでください。
- ▶ 通話中は、電話機に手を触れないでください。
- ▶ 書類、カップ、コーヒーポットなどを電話機に近づけないでください。
- ▶ 通話の開始時には、各出席者に少しずつ順番に話をさせて、電話機の設定が音響環境に合わせて調整されるようにしてください。
- ▶ 相手側の装置の品質が低い場合や半二重の多地点制御装置を使用している場合は、こちらで解決できないこともあります。

音声のこもりや残響がある

- ▶ マイクが正確に音声を拾えるよう、電話機に近づいて話します。
- ▶ 室内の吸音材を増やします。

ノイズが大きすぎる

- ▶ コンピュータやファンなどからノイズが発生している環境では、相手側の話していることが聞き取りにくい場合があります。騒音の発生源となる機器を双方で切る必要があります。
- ▶ 他の回線で接続し、接続状況が改善するかどうかを確認します。

物理的に破損した

- ▶ 内部の部品が見えるほど大きく破損した場合は、直ちに VoiceStation™ 500 の接続を外してください。
- ▶ VoiceStation™ 500 の修理が完了するまで、電話回線に接続しないでください。

Polycom 限定保証

Polycom は、このシステムが Polycom または Polycom の正規販売店によって配送された日、またはシステムが設置された日のうちいずれか遅い方の日付 (保証日) の時点で正常に動作することをエンドユーザーに対して保証します。Polycom または Polycom の正規販売店が保証日から 1 年以内にシステムが正常に動作しない旨の通知を受けた場合、Polycom は、同社の判断において正常に動作しないシステム部品の修理または交換を無償で行います。修理または交換に使用される部品は新品または再製品で、交換のみの目的で提供されます。システムが修理または交換不能であると Polycom が判断した場合、Polycom はシステムを取り外し、またお客様のご要望に従って、システムの購入代金を返却するか、別の Polycom システムの購入代金の一部に充当します。Polycom のメンテナンス範囲の概要については、Polycom までお電話でお問い合わせください。電話番号は 1.800.451.0995 (米国のみ) です。Polycom 正規販売店からシステムを購入した場合、そのシステムに適用されるメンテナンス計画の詳細については、販売店にお問い合わせください。この Polycom 限定保証では、

電氣的サージによって発生するシステムへの損傷は保証範囲に含まれています。以下が原因で発生した損傷について、Polycom はこの限定保証に基づく責任を負いません。

- ▶ 設置、操作、メンテナンスのいずれかに関する Polycom の指示に従っていない運用
- ▶ システムの不正な変更、移設、または改造
- ▶ このシステムを通じてアクセスされるコモンキャリア通信サービスの不正な使用
- ▶ お客様およびお客様の管理下にある人員による乱用、誤用、過失、怠慢
- ▶ 第三者による行為および不可抗力

上に記載された修理、交換、または返金に関する Polycom の義務は、お客様への救済策として排他的なものです。Polycom およびその関連会社、納入業者、および販売店は、特に上に記載された場合を除き、明示的または暗示的であるかを問わず、一切の保証を行いません。特に、市場性または特定目的への適合性に対する保証の責任を否定します。

限定責任

第三者の行為または不作為を含む何らかの原因から発生した請求、損失、損害、または費用に対する Polycom およびその関連会社や部品供給業者の賠償責任の上限は、その行為の形式に関わらず、また契約の有無または不法行為の有無に関わらず、次のうち少額のものとなります。(1) 立証された直接の損害、または (2) 請求の原因である装置に対して状況別に支出された、修理費、交換費、ライセンス使用料、年間賃貸料、または購入費などの費用 いかなる場合も、Polycom およびその関連会社および部品供給業者は、機器の使用または使用に関連して発生する、偶発的、特異的、依存的、結果的、または間接的な損失または損害に対

する責任を負いません。本文で使用される結果的損害とは、利益の損失、収益の損失、および本機器を経由してアクセスまたは本機器に接続されるコモンキャリア通信サービスなどの機能の不正な使用が原因で発生する損失 (または使用のための費用) が含まれますが、これに限定されません。Polycom の過失による人的被害については、Polycom の責任は立証された被害に限定されるものとします。訴訟原因の発生後 24 か月を過ぎた場合、Polycom またはその関連会社および部品供給業者に対する訴訟行為などの法的措置を開始することはできません。

本文は、本質的な目的が有効であるかないかに関わらず、本機器に関連するすべての請求、損失、損害、または費用に対する排他的な救済策について説明したものです。

著作権

国際著作権条約および汎米著作権条約に基づき、無断転載は禁止されています。Polycom, Inc. の書面による同意なしに、本マニュアルの内容の全体または一部を、複写、複製、送信、他言語へ翻訳、または他形式へ変換することは、その形式または方法のいかんを問わず、これを禁じます。本製品に含まれているソフトウェアは、米国著作権法および国際条約の規定により保護されています。本製品に含まれているソフトウェアに関するすべての所有権について、その法的および財産的権利は Polycom, Inc. が保持しています。ユーザーまたはユーザーの依頼を受けた第三者が、

本ソフトウェアの逆コンパイル、逆アセンブル、その他のリバースエンジニアリングを行うこと、または本ソフトウェアのソースコード、基礎概念、アルゴリズムを再構築または検出しようとすることは、その方法のいかんに関わらず、これを禁じます。ユーザーまたはユーザーの依頼を受けた第三者が、製品の識別情報、著作権表示、その他の通知を削除することは禁じられています。Polycom® およびそのロゴは登録商標であり、VoiceStation™ 500 および Acoustic Clarity Technology™ は米国およびその他の諸国における Polycom, Inc. の商標です。

FCC Rules

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this

equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- ▼ Reorient or relocate the receiving antenna.
- ▼ Increase the separation between the equipment and receiver.
- ▼ Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- ▼ Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

In accordance with part 15 of the FCC rules, the user is cautioned that any changes or modifications not expressly approved by Polycom Inc. could void the user's authority to operate the equipment.

Canadian Department of Communications Notice

This Class [B] digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe [B] est conforme à la norme N M B-003 du Canada.

Ring Equivalency Number (REN)

The REN is used to determine the quantity of devices that may be connected to the telephone line. Excessive RENs on the telephone line may result in the devices not ringing in response to an incoming

call. Typically the sum of RENs should not exceed five (5.0). To be certain of the number of devices that may be connected to a line (as determined by the total RENs) contact the local telephone company.

Automatic Dialing

WHEN PROGRAMMING EMERGENCY NUMBERS AND/OR MAKING TEST CALLS TO EMERGENCY NUMBERS:

1. Remain on the line and briefly explain to the dispatcher the reason

for the call.

2. Perform such activities in the off-peak hours, such as early morning or late evening.

Telephone Company Connector

A FCC compliant telephone cord and modular plug is provided with this equipment. This equipment is designed to be connected to the telephone network

or premises wiring using a compatible modular jack that is Part 68 complaint. See the rest of these installation instructions for details.

Canadian Telephone Company Requirements

NOTICE: The Industry Canada label identifies certified equipment. This certification means that the equipment meets telecommunications protective, operational and safety requirements as prescribed in the appropriate Terminal Equipment Technical Requirements document(s). The Department does not guarantee the equipment will operate to the user's satisfaction.

Before installing this equipment, users should ensure that it is permissible to be connected to the facilities of the local telecommunications company. The equipment must also be installed using an acceptable method of connection. The

customer should be aware that compliance with the above conditions may not prevent degradation of service in some situations. Repairs to certified equipment should be coordinated by a representative designated by the supplier. Any repairs or alterations made by the user to this equipment, or equipment malfunctions, may give the telecommunications company cause to request the user to disconnect the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together.

This precaution may be particularly important in rural areas.

Caution: Users should not attempt to make such connections themselves, but should contact the appropriate electric inspection authority, or electrician, as appropriate.”

“NOTICE: The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each relevant terminal device provides an indication of the maximum number of terminals

allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.”

The term “IC:” before the certification/ registration number dignifies only that the Industry Canada technical specifications were met.

Exhibit J - Customer Information

This equipment complies with Part 68 of the FCC rules and the requirements adopted by the ACTA. On the exterior of the cabinet of this equipment is a label that contains, among other

- | | |
|------------------------------------|---------------------|
| • FCC Registration Number: | US: 2HWTE09BVOICEST |
| • Ringer Equivalence Number (REN): | 0.9B |
| • Facility Interface Code (FIC): | 02LS2 |
| • Service Order Code (SOC): | 6.0Y |
| • USOC Jack Type: | RJ11C |

information, a product identifier in the format US: 2HWTE09BVOICEST. If requested, this number must be provided to the telephone company.

If this equipment VoiceStation™ 500 causes harm to the telephone network, the telephone company will notify you in advance that temporary discontinuance of service may be required. But if advance notice isn't practical, the telephone company will notify the customer as soon as possible. Also, you will be advised of your right to file a complaint with the FCC if you believe it is necessary.

The telephone company may make changes to its facilities, equipment, operations or procedures that could affect the operation of the equipment. If this happens, the telephone company will provide advance notice so you can make the necessary modifications to maintain uninterrupted service.

If trouble is experienced with this equipment VoiceStation™ 500, for repair or warranty information, please contact Polycom Inc.: 1-888-248-4143; 1-408-474-2067 Option 1; 4750 Willow Road, Pleasanton, CA 94588-2708, USA; or <http://www.polycom.com>. If the equipment is causing harm to the telephone network, the telephone company may request that you disconnect the equipment until the problem is resolved.

Connection to party line service is subject to state tariffs. (Contact the state public utility commission, public service commission or corporate commission for information.)

Portions of the software contained in this product are Copyright © 1995 - 2003, SPIRIT.

CE Mark R & TTE Directive (EU Only)

This VoiceStation™ 500 has been marked with the CE mark. This mark indicates compliance with EEC Directives 89/336/EEC, 73/23/EEC1999/5/EC. A full copy of the Declaration of Conformity can be obtained from Polycom Ltd., 270 Bath Road, Slough, Berkshire, SL1 4DX, UK.

Polycom Ltd. tímto prohlašuje, že tento VoiceStation™ 500 je ve shod se základními požadavky a dalšími p íslušnými ustanoveními sm rnice 1999/5/ES.

Undertegnede Polycom Ltd. erklærer herved, at følgende udstyr VoiceStation™ 500 overholder de væsentlige krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF.

Hiermit erklárt Polycom Ltd., dass sich das Gerát VoiceStation™ 500 in Übereinstimmung mit den grundlegenden Anforderungen und den übrigen einschlägigen Bestimmungen der Richtlinie 1999/5/EG befindet.

Käesolevaga kinnitab Polycom Ltd. seadme VoiceStation™ 500 vastavust direktiivi 1999/5/EÜ põhinõuetele ja nimetatud direktiivist tulenevatele teistele asjakohastele sätetele.

Hereby, Polycom Ltd., declares that this VoiceStation™ 500 is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

Por medio de la presente Polycom Ltd. declara que el VoiceStation™ 500 cumple con los requisitos esenciales y cualesquiera otras disposiciones aplicables o exigibles de la Directiva 1999/5/CE.

ME THN ΠΑΡΟΥΣΑ Polycom Ltd.

ΔΗΛΩΝΕΙ ΟΤΙ VoiceStation™ 500 ΣΥΜΜΟΡΦΩΝΕΤΑΙ ΠΡΟΣ ΤΙΣ ΟΥΣΙΩΔΕΙΣ ΑΠΑΙΤΗΣΕΙΣ ΚΑΙ ΤΙΣ ΛΟΙΠΕΣ ΣΧΕΤΙΚΕΣ ΔΙΑΤΑΞΕΙΣ ΤΗΣ ΟΔΗΓΙΑΣ 1999/5/EK.

Par la présente Polycom Ltd. déclare que l'appareil VoiceStation™ 500 est conforme aux exigences essentielles et aux autres dispositions pertinentes de la directive 1999/5/CE.

Con la presente Polycom Ltd. dichiara che questo VoiceStation™ 500 è conforme ai requisiti essenziali ed alle altre disposizioni pertinenti stabilite dalla direttiva 1999/5/CE.

Ar šo Polycom Ltd. deklar , ka VoiceStation™ 500 atbilst Direkt vas 1999/5/EK b tiskaj m pras b m un citiem ar to saist tajiem noteikumiem.

Šiuo Polycom Ltd. deklaruoja, kad šis VoiceStation™ 500 atitinka esminius reikalavimus ir kitas 1999/5/EB Direktyvos nuostatas.

Hierbij verklaart Polycom Ltd. dat het toestel VoiceStation™ 500 in overeenstemming is met de essentiële eisen en de andere relevante bepalingen van richtlijn 1999/5/EG.

Hawnhekk, Polycom Ltd., jiddikjara li dan VoiceStation™ 500 jikkonforma mal-ti ijiet essenzjali u ma provvedimenti o rajn relevanti li hemm fid-Dirrettiva 1999/5/EC.

Alulírott, Polycom Ltd. nyilatkozom, hogy a VoiceStation™ 500 megfelel a vonatkozó alapvető követelményeknek és az 1999/5/EC irányelv egyéb előírásainak.

Niniejszym Polycom Ltd. o wiadcza, e VoiceStation™ 500 jest zgodne z zasadniczymi wymaganiami oraz innymi stosownymi postanowieniami Dyrektywy 1999/5/WE

Polycom Ltd. declara que este VoiceStation™ 500 está conforme com os requisitos essenciais e outras disposições da Directiva 1999/5/CE.

Polycom Ltd. týmto vyhlasuje, že VoiceStation™ 500 sp a základné požiadavky a všetky príslušné ustanovenia Smernice 1999/5/ES.

Polycom Ltd. vakuuttaa täten että VoiceStation™ 500 tyyppinen laite on direktiivin 1999/5/EY oleellisten vaatimusten ja sitä koskevien direktiivin muiden ehtojen mukainen.

Härmed intygar Polycom Ltd. att denna VoiceStation™ 500 står i överensstämmelse med de väsentliga egenskapskrav och övriga relevanta bestämmelser som framgår av direktiv 1999/5/EG.

Hér með lýsir Polycom Ltd. yfir því að VoiceStation™ 500 er í samræmi við grunnkröfur og aðrar kröfur, sem gerðar eru í tilskipun 1999/5/EC

Polycom Ltd. erklærer herved at utstyret VoiceStation™ 500 er i samsvar med de grunnleggende krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF.

IMPORTANT NOTE

FCC Radiation Exposure Statement:

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance of 20cm between the radiator and your body.

This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.



米国におけるテクニカルサポート
電話 : 408-526-9000 インターネット : <http://www.polycom.com>

Polycom, Inc. 1565 Barber Lane, Milpitas, CA 95035
電話 : 408-526-9000 または米国フリーダイヤル : 800-POLYCOM
FAX: 408-526-9100

Polycom®, VoiceStation™, Polycom のロゴは、いずれも米国およびその他の諸国における Polycom, Inc. の登録商標です。© 2006 Polycom, Inc.
All Rights Reserved.